

県内でも新型コロナウイルスの感染が確認された方が増えている（4月5日時点で14例）。一日も早い回復を願っている。

政府や自治体、医療関係者は、感染拡大の速度を可能な限り抑制し、爆発的な感染拡大の発生防止に全力

展望台

を挙げている。学校も、事業者も、私たち一人一人の国民もそうである。地域差や個人差はあるが、従来、普通に行われていたことの多くが中止・延期・抑制さ

れている。さまざまなイベントや会合、スポーツ、観光、レジャー・娯楽、学校の授業や卒業式・入学式、企業の商談や社内の会議、入社式や学生向けの説明会、通勤、人事異動に伴う

大切なことと気付く契機に

三木 徹

歓迎宴会、結婚披露宴などがそうである。

この経験は、本当に必要なこと、大切なことに気付かされる契機になるだろう。例えば、在宅勤務が普及し、「毎日の通勤」は不

要となる仕事が増えると思われ。定期開催されていた業務上のイベントや会議も、主催者・参加者双方で必要性が吟味され、参加者が居眠りしている講演会や、意見の出ない定例会議

こうした「不急」が人生を豊かにする大切なものであることを改めて実感しているのではないかと。ただ、豊かな人生を早く取り戻すためにも、今、大切なことは、政府や自治体をはじめ、金融機関など関係諸機関が新型コロナウイルスの影響を受けた事業者や個人を支えつつ（日本銀行も、企業金融の円滑確保と金融市場の安定維持のためさまざまな対応を行っている）、社会全体で感染拡大の速度を可能な限り抑制し、命を守ることである。（日本銀行甲府支店長）